

- ・ 阪堺線（堺市内区間）の存続には、行政・市民・事業者のそれぞれ取組みの実行とその連携が重要
- ・ 三者の連携促進を図るためには、三者により構成される組織（運営委員会（仮称））の設立が望ましい

## 行政

### 役割

阪堺線再生プログラムを実施する

### 必要な取組み

- ・ 阪堺線の存続理由を明確にする
- ・ 阪堺線再生プログラムを、着実に実施する
- ・ 市民、事業者の取組みを支援する

## 市民

### 役割

阪堺線を利用する、応援する

### 必要な取組み

- ・ 利用する機会を増やす
- ・ ボランティア（清掃、花壇等）
- ・ サポーター制度（車両購入、企業広告等）

## 運営委員会（仮称）

## 事業者

### 役割

阪堺線に乗ってもらい、知ってもらい

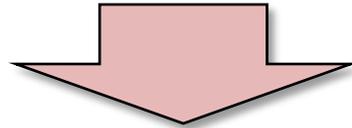
### 必要な取組み

- ・ 安全に運行する
- ・ 経営効率を高める
- ・ 利用者利便を高める
- ・ 沿線も含めて宣伝に努める
- ・ 行政、市民と連携する

【行政・市民・事業者が参加する運営委員会（仮称）について】

運営委員会（仮称）

- ・メンバー：堺市、沿線住民、市民団体、阪堺電気軌道（株） 等
- ・目的：阪堺線（堺市内区間）の存続・活性化を目的とし、阪堺電気軌道（株）への支援策の検証・見直しや、活性化に向けての意見交換等を実施することを目的とする



【支援策の検証】

施策実施による効果（利用者増加数、収入改善効果 等）  
堺市の負担方法 等

【支援策の見直し】

効果的な支援策の検討  
先進事例の研究  
公有民営 等

【活性化に向けた意見交換】

イベントの開催、阪堺線のサービス改善 等

## 貴志川線運営委員会

### 目的

和歌山電鐵の運営の最高意思決定機関として設置され、貴志川線の永続的運営を基本理念とし、地域、行政及び各種団体等が連携し、貴志川線の利用促進と沿線のまちづくりの推進を図ることを目的として活動

### 構成団体

和歌山県、和歌山市、紀の川市、商工会、沿線高校（教員代表、生徒会代表、PTA代表）、市民団体（和歌山の交通まちづくりを進める会、和歌山市民アクティブネットワーク、貴志川線の未来をつくる会）、和歌山電鐵

### 活動内容

おおよそ月1回開催し、会社からは乗客の動向、イベントの案などを説明、メンバーからはいろいろな要望や意見を出し、意見交換を実施。

### 活動実績

- ・ 貴志川特産のいちごをテーマに著名なデザイナーの手により従来の車両を大胆にリニューアルした「いちご電車」等の企画車両の導入
- ・ 多くの沿線住民や観光客の参加する貴志川線祭りの開催 等



「いちご電車」

## 【市民の役割】

ボランティア（清掃、花壇等）  
他の事業者における事例

種別	事業者	概要
地元NPO法人による支援	樽見鉄道	車内設備（シート等）の改修費用の募金・張り替え、駅待合所の改修等
地元学生による支援	鹿島鉄道	コンテストや駅クリーン作戦の実施、鉄道会社・自治体への提案等
地域による支援	えちぜん鉄道	観光協会や自治会等によるサポート組織が、イベントや催し物の支援
ボランティア駅清掃	上田鉄道別所線	ボランティアが駅清掃や植栽を実施
駅ボランティア	横浜市交通局	高齢者や障害者などの地下鉄利用を駅で手助けをするボランティア

## 【市民の役割】

サポーター制度（車両購入、企業広告等）

他の事業者における事例

種別	事業者	概要
車両購入支援	豊橋鉄道	新型低床車両の購入費の一部（約3500万円）が寄付（豊橋市地域公共交通活性化基金）
	銚子電鉄	購入費用の一部（2,000万円）を債券化し、1口10万円で公募
	岡山電気軌道	新型低床車両の購入費の一部（500万円）が市民による寄付
検査費用支援	肥薩オレンジライン	1口1万円で公募
企業広告	富山ライトレール	2電停において命名権を販売（ネーミングライツ）
	長崎電気軌道ほか多数	車体広告（ラッピング車両）

## 【事業者の役割】

### 事業者による宣伝

#### 他の事業者における事例

種別	事業者	概要
啓発活動（イベント等）	函館市交通局	路面電車感謝祭（親子見学会等を実施）
	各軌道事業者	路面電車まつりの開催
グッズ販売	各軌道事業者	模型電車、光センサー電車、パズルなど
レトロ車両	函館市交通局	「箱館ハイカラ號」の復元
イルミネーション	広島電鉄	「七夕電車」「クリスマス電車」
イベント列車	豊橋鉄道	おでんしゃ（おでん＋鉄道）



親子見学会  
(出典:函館市交通局HP)



模型電車  
(出典:東京都交通局HP)



イルミネーション車両  
(出典:広島電鉄HP)

## 【チンチン電車を愛する会】

### 目的

阪堺線の活性化（利用促進と収入増加）を目的として、平成15年に設立

### 構成員

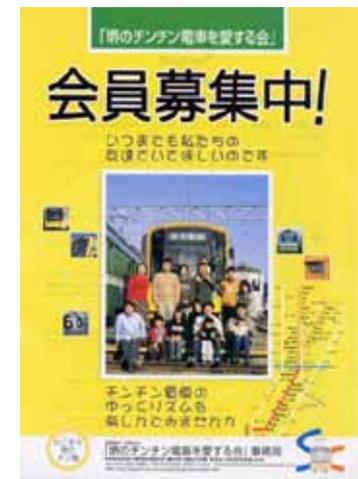
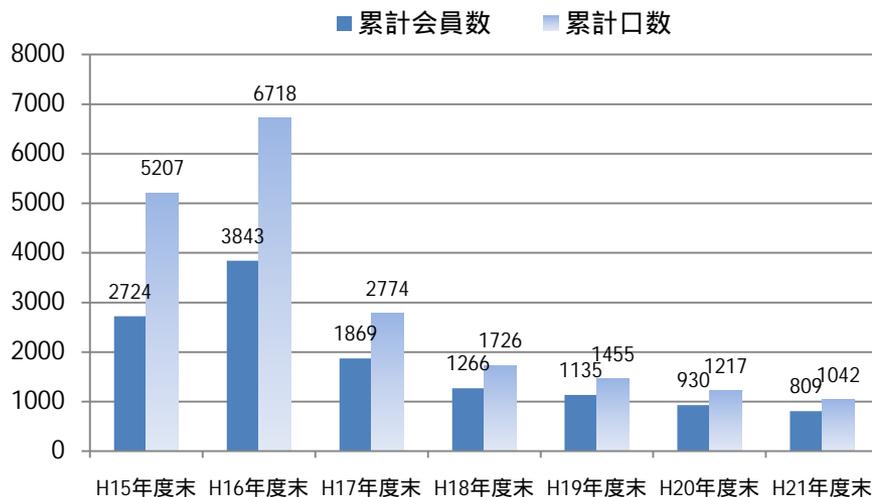
市民、企業、（財）堺市都市整備公社（事務局）

### 主な活動

- ・ 会員1口（3000円）に対し、2,600円相当の乗車券を配布
- ・ 沿線イベントにおける、会員募集活動
- ・ 電車のボディ広告（協賛企業・団体20社×3台(H21年度末)）

### 会員数、口数の推移

H21年度末時点：809人、1042口



「愛する会」の車体広告